



アイカ工業株式会社
2024年3月期 決算説明会



VALUE CREATION
3000 & 300



2024年 5月22日
証券コード：4206

1. 2024年3月期 実績概況

2. 2024年3月期 セグメント別実績

3. 2025年3月期 計画概況

4. 2025年3月期 セグメント別計画

5. 中期経営計画 Value Creation 3000&300の進捗

1-1. 連結決算の概要

[百万円]

	2023/3期		修正計画※ ₁	2024/3期			
	実績	利益率		実績	利益率	伸率	達成率
売上高	242,055	—	237,000	236,625	—	△2.2%	99.8%
営業利益	20,557	8.5%	24,500	25,286	10.7%	+23.0%	103.2%
経常利益	22,088	9.1%	25,500	26,135	11.0%	+18.3%	102.5%
当期純利益※ ₂	10,059	4.2%	14,600	15,135	6.4%	+50.5%	103.7%

※1 2024年1月発表の業績修正計画

※2親会社株主に帰属する当期純利益

[一株当たり単位：円]

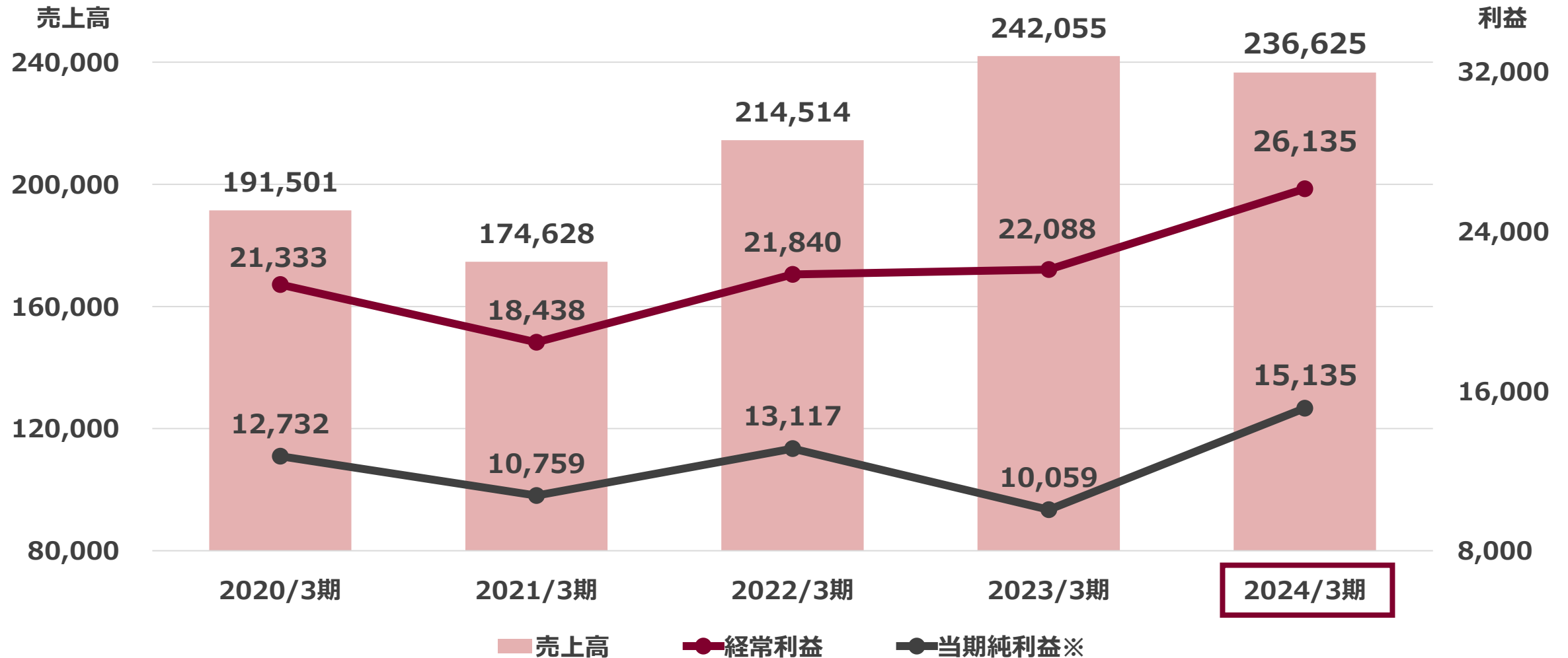
R O E	6.9%	—	9.5%	9.9%	—	—	—
一株当たり純利益	157.27	—	228.23	236.60	—	—	103.7%
一株当たり株主資本	2,270.08	—	2,519.07	2,529.07	—	—	100.4%

- 連結業績：営業利益・経常利益・当期純利益は過去最高を更新
- 国内事業：建設市場は低迷も、建装建材で高付加価値商品の伸長や価格改定の浸透、化成品で収益性の改善により増収増益を確保
- 海外事業：化成品はAAPHグループ※₃の売価低下により減収も、営業利益は伸長
建装建材はタイをはじめとした東南アジア地域の好調により売上高・営業利益ともに伸長

※3 AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

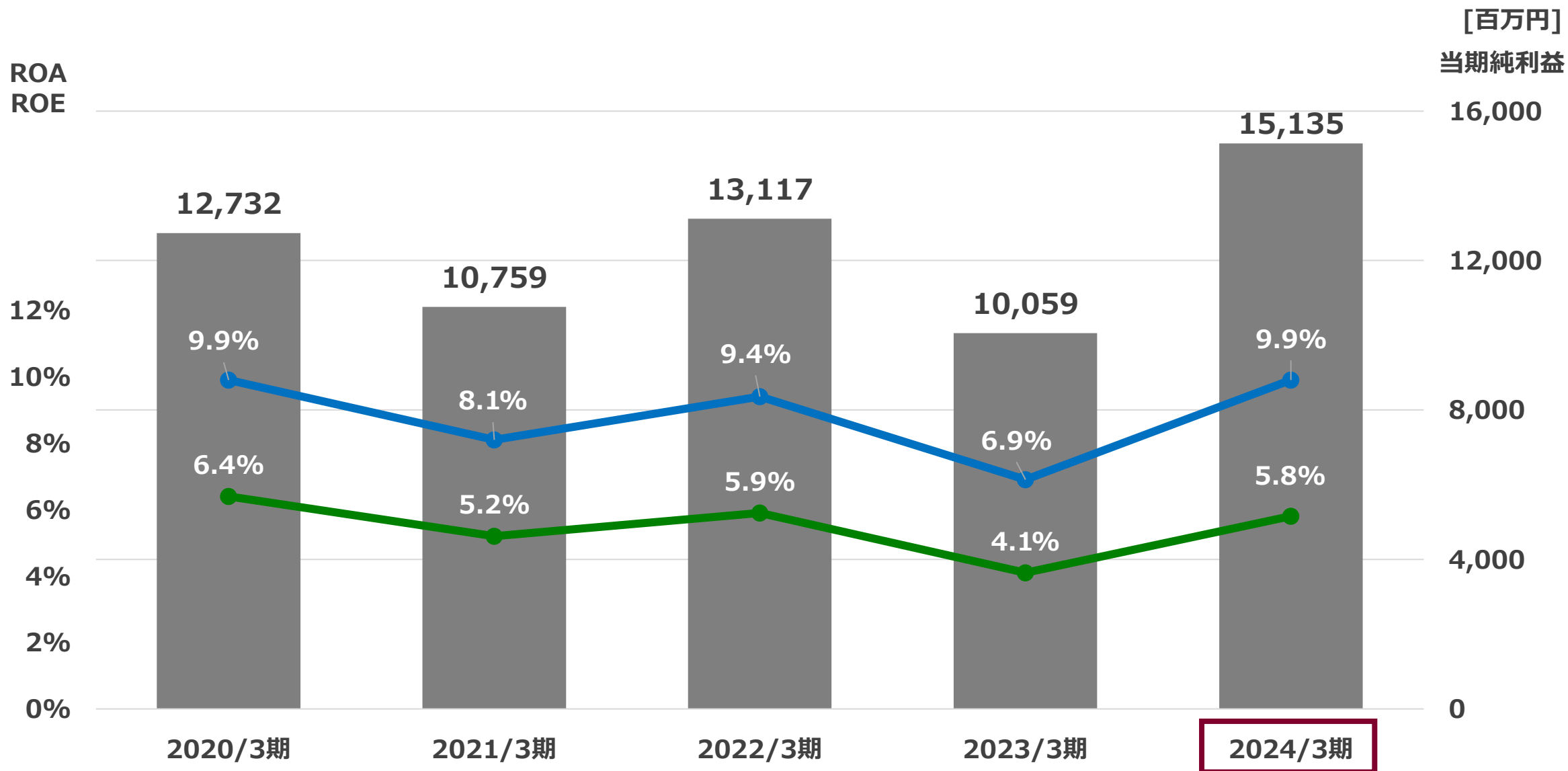
[百万円]

経常利益・当期純利益は過去最高を更新



※親会社株主に帰属する当期純利益

1-3. ROA・ROEの推移



※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 当期純利益※

● ROA

● ROE

1-4. 主要項目の状況

	2022/3期 連結	2023/3期 連結	2024/3期 連結
研究開発費	34.5億円	39.9億円	40.7億円
減価償却費	64.1億円	67.9億円	70.4億円
設備投資額	71.1億円	86.9億円	93.6億円
借入金残高	170.5億円	125.2億円	115.1億円
期末人員	4,949人	4,963人	5,007人
（国内）	1,579人	1,590人	1,562人
（海外）	3,370人	3,373人	3,445人

1-5. セグメント別業績

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2023/3期 実績	2024/3期 修正計画※	2024/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 修正計画※	2024/3期 実績	
化成品	141,312	130,000	130,300	7,494	9,000	9,280	金額
				5.3%	6.9%	7.1%	利益率
建装建材	100,743	107,000	106,325	16,740	19,800	20,339	金額
				16.6%	18.5%	19.1%	利益率
			(配賦不能営業費用)	△3,678	△4,300	△4,333	金額
合計	242,055	237,000	236,625	20,557	24,500	25,286	金額
				8.5%	10.3%	10.7%	利益率

※ 2024年1月発表の業績修正計画

1-6. セグメント別海外売上高

[億円]

	2023/3期 実績		2024/3期 実績		
	売上高	海外売上比率	売上高	伸率	海外売上比率
化成品	1,050.6	74.4%	927.9	△11.7%	71.2%
建装建材	188.8	18.7%	202.4	+7.2%	19.0%
合計	1,239.5	51.2%	1,130.4	△8.8%	47.8%

1. 2024年3月期 実績概況
- 2. 2024年3月期 セグメント別実績**
3. 2025年3月期 計画概況
4. 2025年3月期 セグメント別計画
5. 中期経営計画 Value Creation 3000&300の進捗

2-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績

[億円]

	2023/3期	2024/3期			
	実績	修正計画※ ₁	実績	達成率	伸率
接着剤 ※ ₂	1,015.0	918.3	919.4	100.1%	△9.4%
(うちAAPHグループ ※ ₃)	(810.7)	(712.7)	(716.3)	(100.5%)	(△11.6%)
建設樹脂	98.1	106.1	103.1	97.2%	+5.1%
機能材料	177.0	156.1	158.6	101.7%	△10.4%
その他	122.8	119.5	121.7	101.9%	△0.9%
合計	1,413.1	1,300.0	1,303.0	100.2%	△7.8%

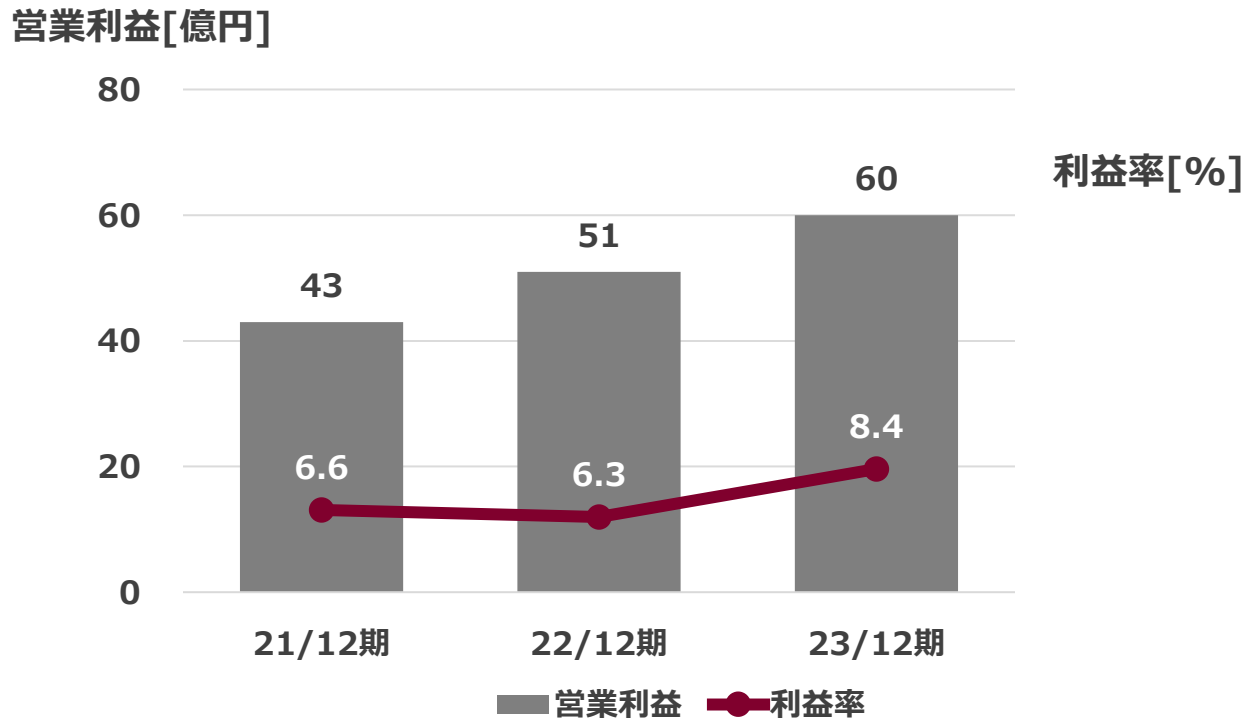
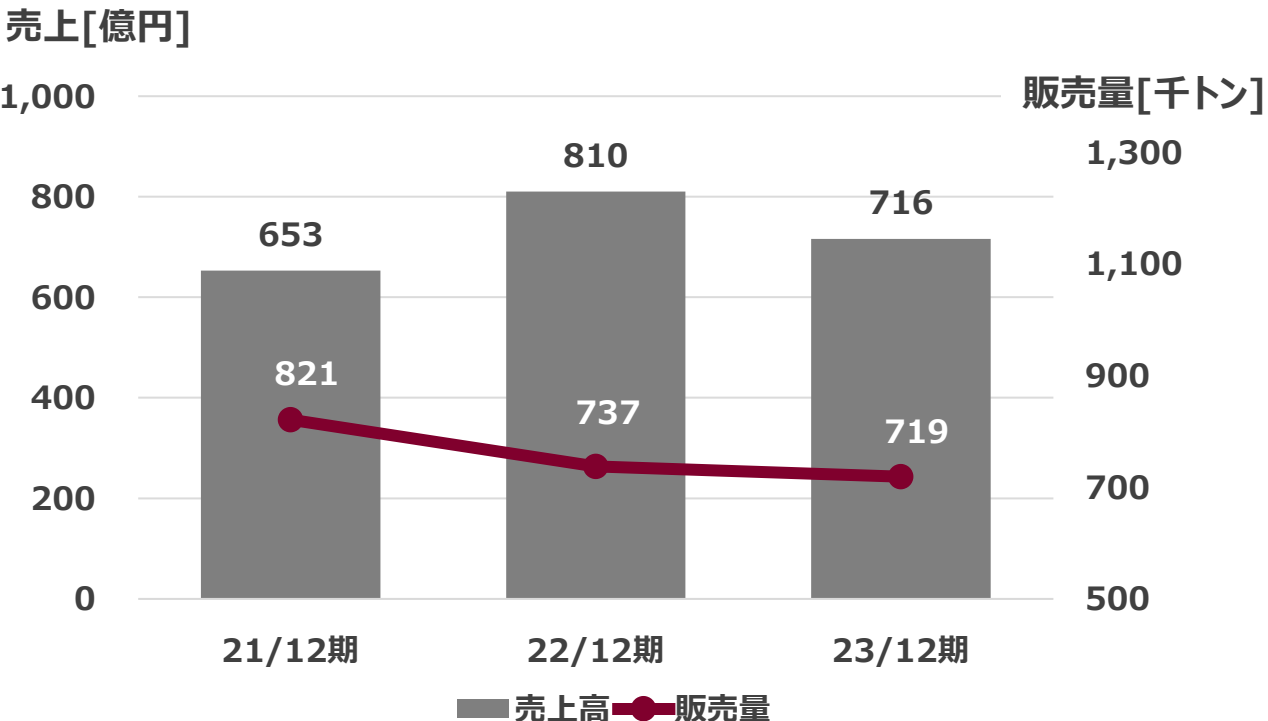
※1 2024年1月発表の業績修正計画

※2 商品群分類の変更：「機能材料・その他」に分類していた「ホットメルト」、「アクリル・コンパウンド」を24/3期より「接着剤」の分類に変更

「接着剤、建設樹脂、機能材料」に分類していた「昆山愛克樹脂」、「瀋陽愛克浩博化工」の売上を24/3期より「AAPHグループ」の分類に変更

※3 AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

2-2. 化成品セグメント 実績 (AAPHグループ)



※のれん・連結取引消去前

23/12期
売上高 △ 12%
販売量 △ 2%

23/12期
営業利益 +18%
(3期連続増益)

※AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

2-3. 化成品セグメント 実績 (AAPHグループ以外)

接着剤 (AAPHグループ以外) 24/3期	
売上	営業利益
203.0億円 (△0.6%)	増益

機能材料 (国内) 24/3期	
売上	営業利益
59.0億円 (+11.3%)	増益

建設樹脂 24/3期	
売上	営業利益
103.1億円 (+5.1%)	増益

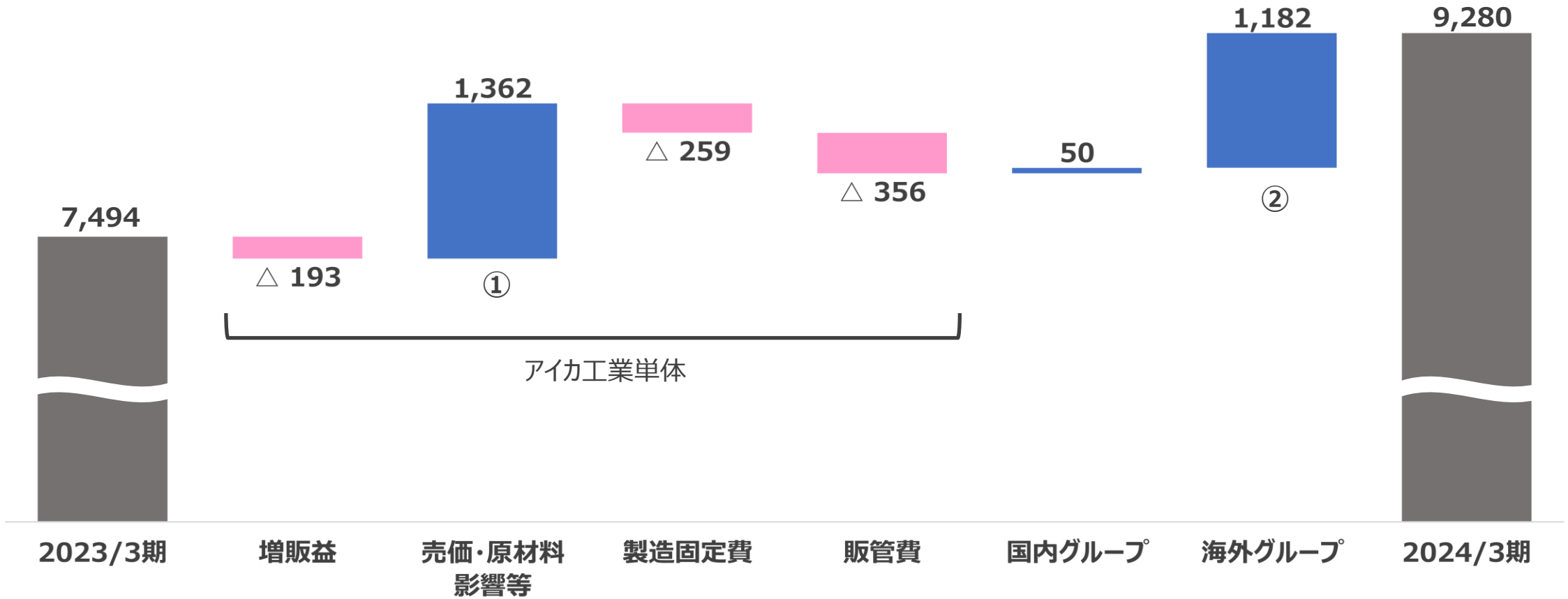
EMCグループ 23/12期	
売上	営業利益
106.7億円 (△18.0%)	前期比 + 3.6億円

※AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

※のれん・連結取引消去前

※EMC : エバモア・ケミカル・インダストリー

2-4. 化成品セグメント 営業利益実績



① 売価・原材料影響等	
原材料影響等	△ 578
価格転嫁・コストダウン等	+1,935

② 海外グループ	
AAPHグループ	+ 798
EMCグループ	+ 368

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング
 ※EMC : エバモア・ケミカル・インダストリー

2-5. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

[億円]

	2023/3期	2024/3期			
	実績	修正計画※ ₁	実績	達成率	伸率
メラミン化粧板	322.0	342.7	343.2	100.2%	+6.6%
ボード フィルム等	125.0	125.3	124.1	99.1%	△0.7%
セラール	217.4	237.1	232.5	98.1%	+6.9%
不燃建材	78.0	75.2	75.2	100.0%	△3.6%
住器建材※ ₂	264.8	289.7	288.0	99.4%	+8.8%
合計	1,007.4	1,070.0	1,063.2	99.4%	+5.5%

※1 2024年1月発表の業績修正計画

※2 商品群分類の変更：「カウンター ポストフォーム」と「建具 インテリア建材」を24/3期より「住器建材」に統合

2-6. 建装建材セグメント 実績（国内）

売上

24/3期
860.8億円
 (+5.2%)

＜好調商品＞

- 化粧フィルム「オルティノ」
- メラミン不燃化粧板「セラル」
- 洗面化粧台「スマートサニタリー」



▲「スマートサニタリー」

＜参考＞ 24/3期の国内建設市場（実績）

住宅 △4%、非住宅 △11%

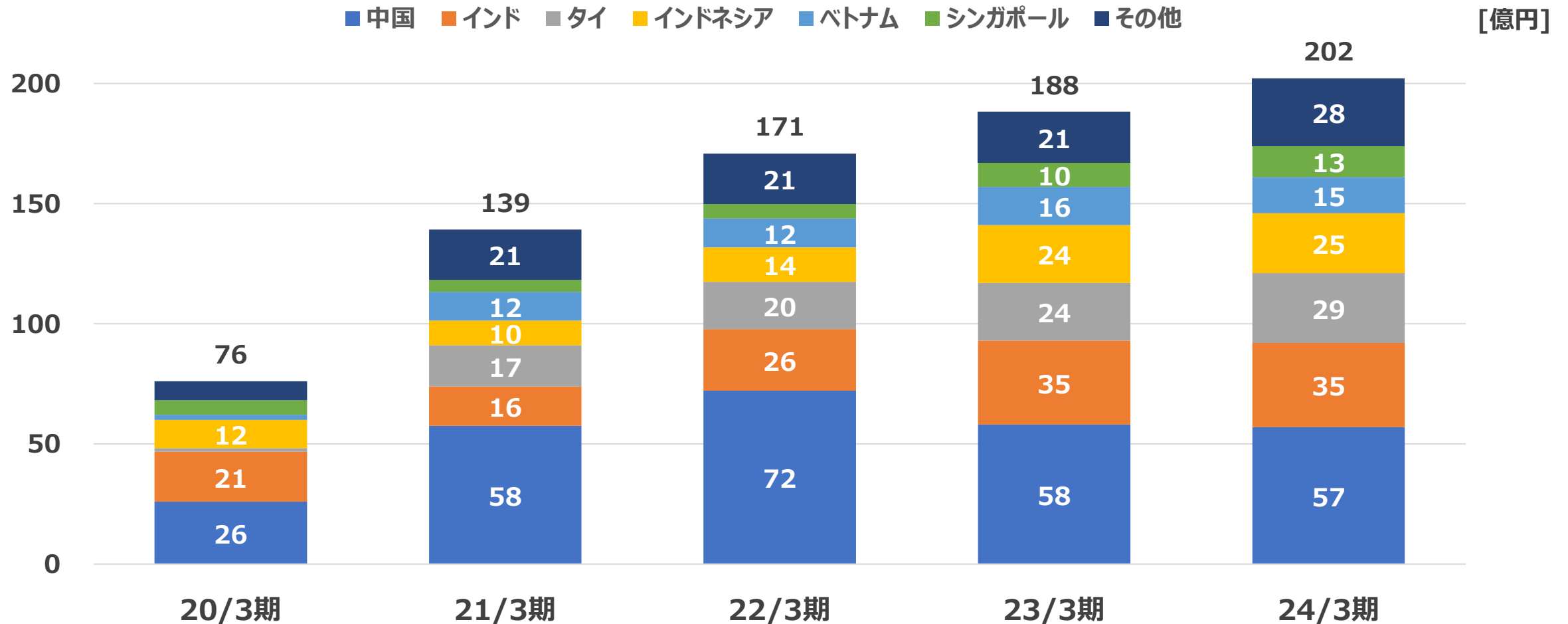
※当社需要期へタイムラグ調整済み

営業利益

24/3期
 前期比 + **20.6**億円

- 商品ミックスの改善
 （高付加価値商品の伸長）
- コストダウン
- 価格改定の浸透

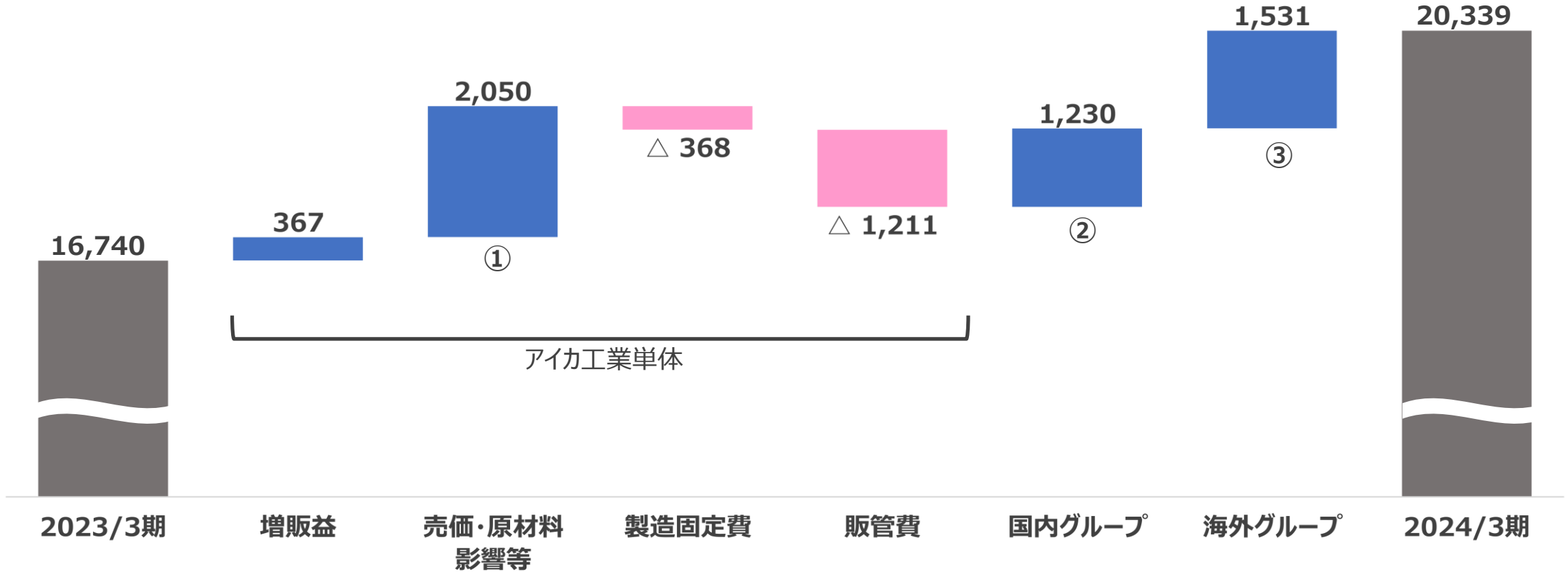
2-7. 建装建材セグメント 売上実績 (海外)



売上は年々増加傾向、24/3期はタイ、インドネシア、シンガポールが好調

2-8. 建装建材セグメント 営業利益実績

[百万円]



① 売価・原材料影響等

原材料影響等	△1,462
価格転嫁・コストダウン等	+3,606

② 国内グループ

アिकाテック建材	+719
アিকাハリマ	+341
アिकाインテリア	+185

③ 海外グループ

アিকাチャイナ	+977
ウィルソナート・タイ社	+238
アिकाインドネシア社	+134

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※アিকাチャイナ：ウィルソナート上海社+ソイス社

1. 2024年3月期 実績概況
2. 2024年3月期 セグメント別実績
- 3. 2025年3月期 計画概況**
4. 2025年3月期 セグメント別計画
5. 中期経営計画 Value Creation 3000&300の進捗

3-1. 2025年3月期 経営環境予測

国内建設市場 ※当社需要期へタイムラグ調整済み

	住宅	非住宅
2024年3月期（実績）	△4.0%	△11.1%
2025年3月期（予測）	△1.1%	△2.2%

海外市場

中東情勢の混乱や、中国の不動産市場の調整長期化が懸念。
一方で、アジア地域では持続的な経済成長を予測。

為替換算レート ※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は数社のみ

2024年3月期（実績）	1USD = 140.54円
2025年3月期（予測）	1USD = 145.00円

国産ナフサ価格 ※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2024年3月期（実績）	67,500円/kl
2025年3月期（予測）	75,000円/kl

3-2. 2025年3月期 通期計画

[百万円]

	2024/3期 実績		2025/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増減額
売上高	236,625	-	250,000	-	+5.7%	13,375
営業利益	25,286	10.7%	26,500	10.6%	+4.8%	1,214
経常利益	26,135	11.0%	27,500	11.0%	+5.2%	1,365
当期純利益※	15,135	6.4%	15,500	6.2%	+2.4%	365
ROE	9.9%	-	9.3%	-	-	-
ROA	5.8%	-	5.6%	-	-	-
一株当たり純利益	236.60円	-	242.30円	-	-	-
一株当たり株主資本	2,529.07円	-	2,658.36円	-	-	-
研究開発費	40.7億円	-	43.5億円	-	-	-
減価償却費	70.4億円	-	75.0億円	-	-	-
設備投資額	93.6億円	-	100.0億円	-	-	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

3-3. 2025年3月期 通期セグメント別計画

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2024/3期 実績	2025/3期 計画	伸率	2024/3期 実績	2025/3期 計画	伸率	
化成品	130,300	138,200	+6.1%	9,280	9,600	+3.4%	金額
				7.1%	6.9%	-	利益率
建装建材	106,325	111,800	+5.1%	20,339	21,300	+4.7%	金額
				19.1%	19.1%	-	利益率
				△4,333	△4,400	-	金額
				(配賦不能営業費用)			
合計	236,625	250,000	+5.7%	25,286	26,500	+4.8%	金額
				10.7%	10.6%	-	利益率

3-4. 2025年3月期 上半期セグメント別業績計画

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2024/3期 上半期実績	2025/3期 上半期計画	伸率	2024/3期 上半期実績	2025/3期 上半期計画	伸率	
化成品	63,697	66,300	+4.1%	4,225	4,380	+3.7%	金額
				6.6%	6.6%	-	利益率
建装建材	49,610	53,700	+8.2%	9,090	9,815	+8.0%	金額
				18.3%	18.3%	-	利益率
				△1,909	△2,195	-	金額
							(配賦不能営業費用)
合計	113,307	120,000	+5.9%	11,406	12,000	+5.2%	金額
				10.1%	10.0%	-	利益率

1. 2024年3月期 実績概況
2. 2024年3月期 セグメント別実績
3. 2025年3月期 計画概況
- 4. 2025年3月期 セグメント別計画**
5. 中期経営計画 Value Creation 3000&300の進捗

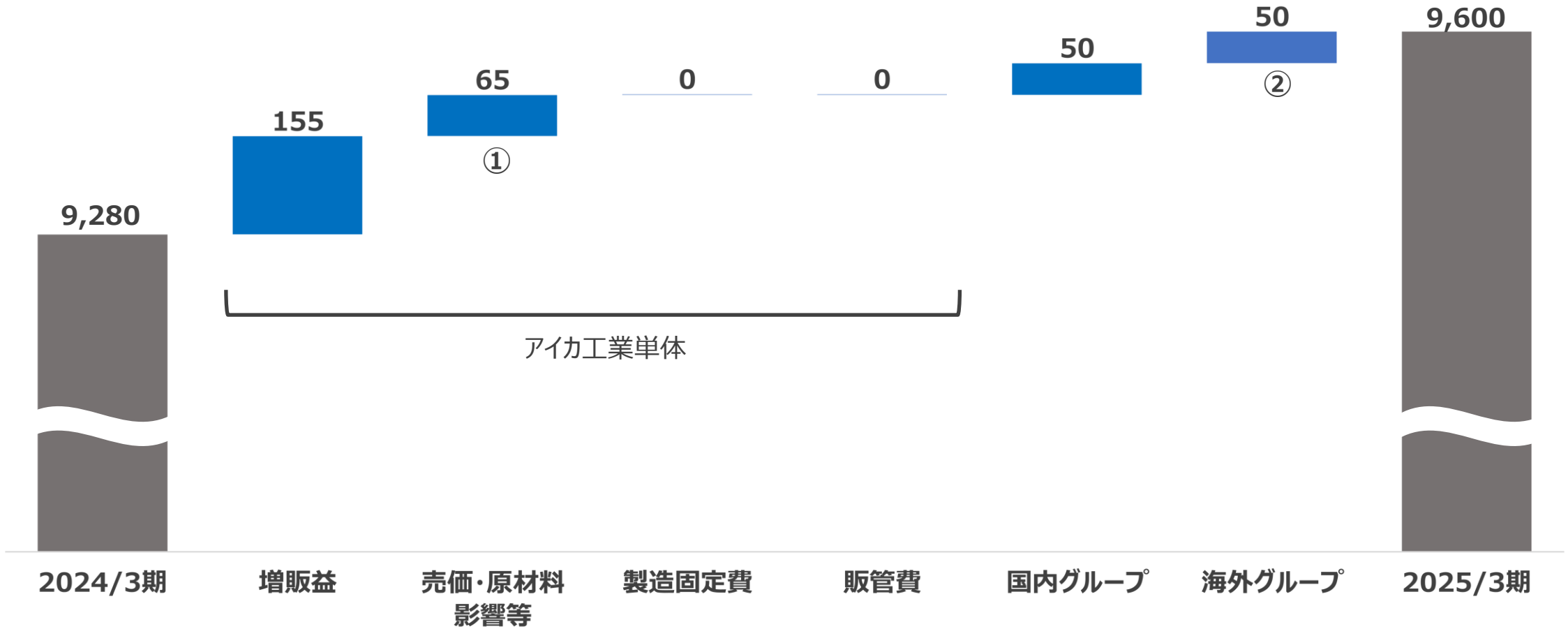
4-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績および計画

	2024/3期 (実績)		2025/3期 (計画)			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
接着剤 (うちAAPHグループ※)	451.1 (350.5)	919.4 (716.3)	465.0 (362.0)	+3.1% (+3.3%)	970.0 (758.0)	+5.5% (+5.8%)
建設樹脂	49.9	103.1	52.5	+5.2%	110.0	+6.6%
機能材料	74.7	158.6	82.5	+10.3%	176.0	+10.9%
その他	61.1	121.7	63.0	+3.0%	126.0	+3.5%
合計	636.9	1,303.0	663.0	+4.1%	1,382.0	+6.1%

※ AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

4-2. 化成品セグメント 営業利益計画

[百万円]



① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 $\Delta 674$
 価格転嫁・コストダウン等 $+739$

② 海外グループ
 AAPHグループ ± 0

※AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

4-3. 化成品セグメント 方策（海外）

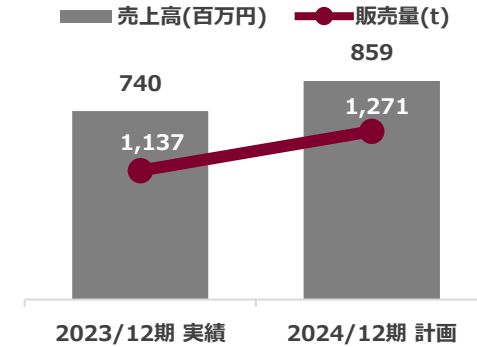
AAPHグループ

■ タイ 産業用樹脂の拡大

- ・ アイカバンコク、ホットメルト事業好調
- ・ 自動車ランプ用、フィルター用、梱包用の拡販に注力

■ 中国事業が奮闘、さらなる拡大へ

- ・ AAPは中国市況の影響が軽微、販売が堅調推移
⇒ 2023/12期 販売量前年比+2.3%、2024/12期 販売量計画 前年比+2.5%
- ・ アイカ広東社新工場、2023年9月稼働済、産業用樹脂の販売拡大
- ・ アイカ福建社新工場、2024年9月稼働予定、竹材用フェノール樹脂の需要取り込み



アイカバンコク ホットメルト 売上高・販売量推移



ヘッドランプ用ホットメルト



アイカ広東社 新工場

EMCグループ

■ 収益のさらなる改善、高付加価値商品の注力

- ・ 建材用ホットメルトの拡販
- ・ UV硬化型モノマーの第3製造ライン設置、UV硬化型コーティング剤の拡販



UV硬化型コーティング剤使用例
(ラベル用)

4-4. 化成品セグメント 方策（国内）

■ 工場向け塗り床材の開発・拡販

- ・ 大型半導体製造工場での受注獲得
- ・ 低アウトガス塗り床材の工法ラインナップを追加予定
⇒ さらなる半導体工場での採用拡大



塗り床材「ジリエース」



塗り床材「ジリエース」

■ 成長事業の創出・育成（自動車用3次元加飾フィルムの拡大）

- ・ 内装用は実績拡大。さらなる拡販に向けて海外新規顧客を開拓予定
- ・ 外装用は、自動車メーカーのスペックに合格。早期実績化を目指す

■ 高収益体質に向けた構造改革の継続

- ・ 樹脂別の採算管理を引き続き徹底
- ・ コストダウン、売価改定、商品統廃合などにより持続的に利益率向上



外装用3次元加飾フィルム

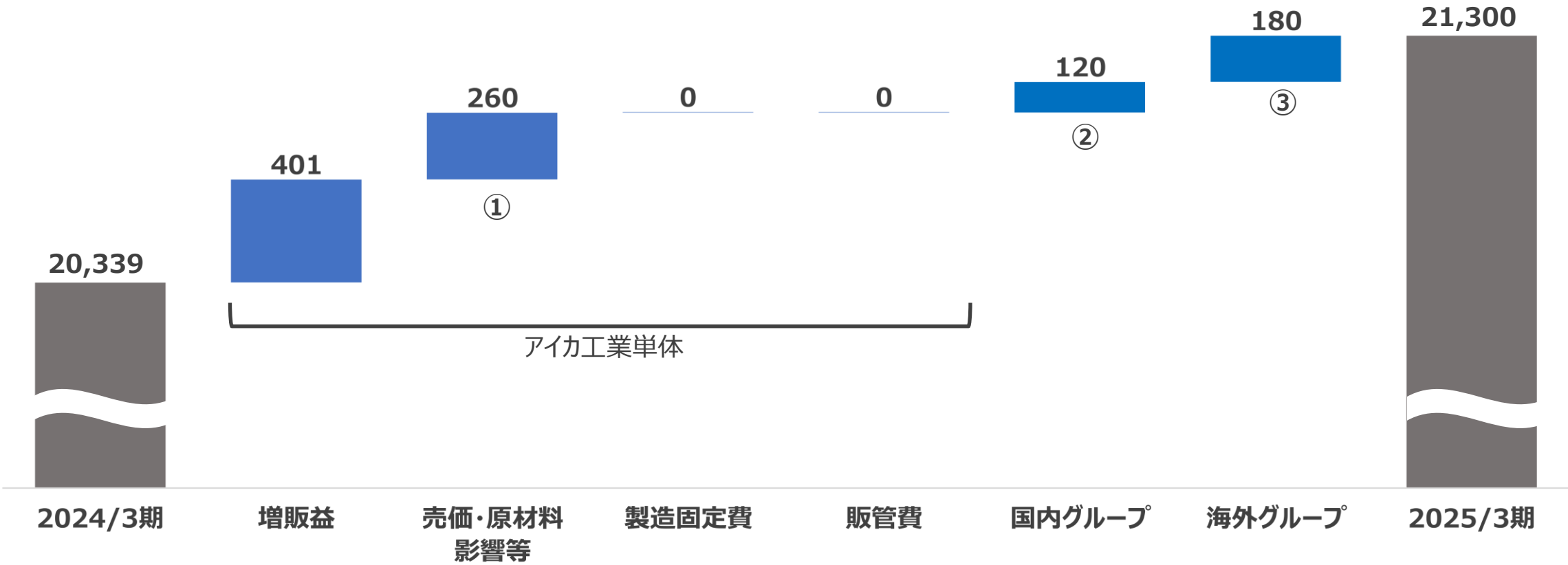
4-5. 建装建材セグメント 商品群別売上実績および計画

[億円]

	2023/3期（実績）		2024/3期（計画）			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
メラミン化粧板	159.1	343.2	177.0	+11.2%	370.0	+7.8%
ボード フィルム等	58.4	124.1	61.0	+4.3%	127.0	+2.3%
セラール	108.1	232.5	118.0	+9.1%	243.0	+4.5%
不燃建材	34.6	75.2	35.0	+0.9%	77.0	+2.4%
住器建材	135.6	288.0	146.0	+7.6%	301.0	+4.5%
合計	496.1	1,063.2	537.0	+8.2%	1,118.0	+5.1%

4-6. 建装建材セグメント 営業利益計画

[百万円]



① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 $\Delta 1,260$
 価格転嫁・コストダウン等 $+ 1,520$

② 国内グループ
 アイカテック建材 $+ 100$

③ 海外グループ
 アイカチャイナ $+ 100$

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ アイカチャイナ：ウィルソナート上海社 + ソイス社

4-7. 建装建材セグメント 方策（国内）

既存事業の拡大

■ 高付加価値（高意匠）商品の販売が拡大中

- 非住宅物件向け「セラールセレント」
- 洗面化粧台「スマートサニタリー」など

■ 「フィオレストーン」の加工ラインを増設中

- アイカインテリア工業の茨城工場内に新工場棟を建設し、高級人造石「フィオレストーン」の加工ラインを増設
- 投資額：約7.7億円
- 稼働予定：2024年秋



▲アイカインテリア工業の茨城工場

新規市場の開拓

■ 床市場の実績拡大

- 2019年に「メラミンタイル」を発売
- 商業施設や飲食店などで採用が拡大中



▲「メラミンタイル」

■ 天井市場の実績拡大

- 2022年に「セラール」を天井に施工する工法を開発、高い防カビ性能を持つ天井材「カビテクト」も発売
- 5年後に10億円の売上を目指す

「カビテクト」は食品工場などの新たなニーズを発掘し、採用拡大中



▲新工法で施工されたセラール



▲「カビテクト」

4-8. 建装建材セグメント 方策 (海外)

東南アジア事業の成長

■ ジャパンテクノロジーの移植

- 生産拠点の最適化
- ハイエンド市場での差別化戦略

■ ベトナムの新工場が稼働開始

- アイカ・ラミネーツ・ベトナム社において、メラミン化粧板の製造設備導入、および新工場・倉庫の建設が完了
- 投資額：約13億円
- 稼働：2024年1月



▲アイカ・ラミネーツ・ベトナム社の新工場

インド・中国事業の成長

■ インド事業の成長

- 生産設備の増強に伴うインド国内のシェア拡大
- ドバイ支店を活用した中東地域への拡販
(25年度に域内の売上を5.5億円とする計画)



▲アイカ・ラミネーツ・インド社

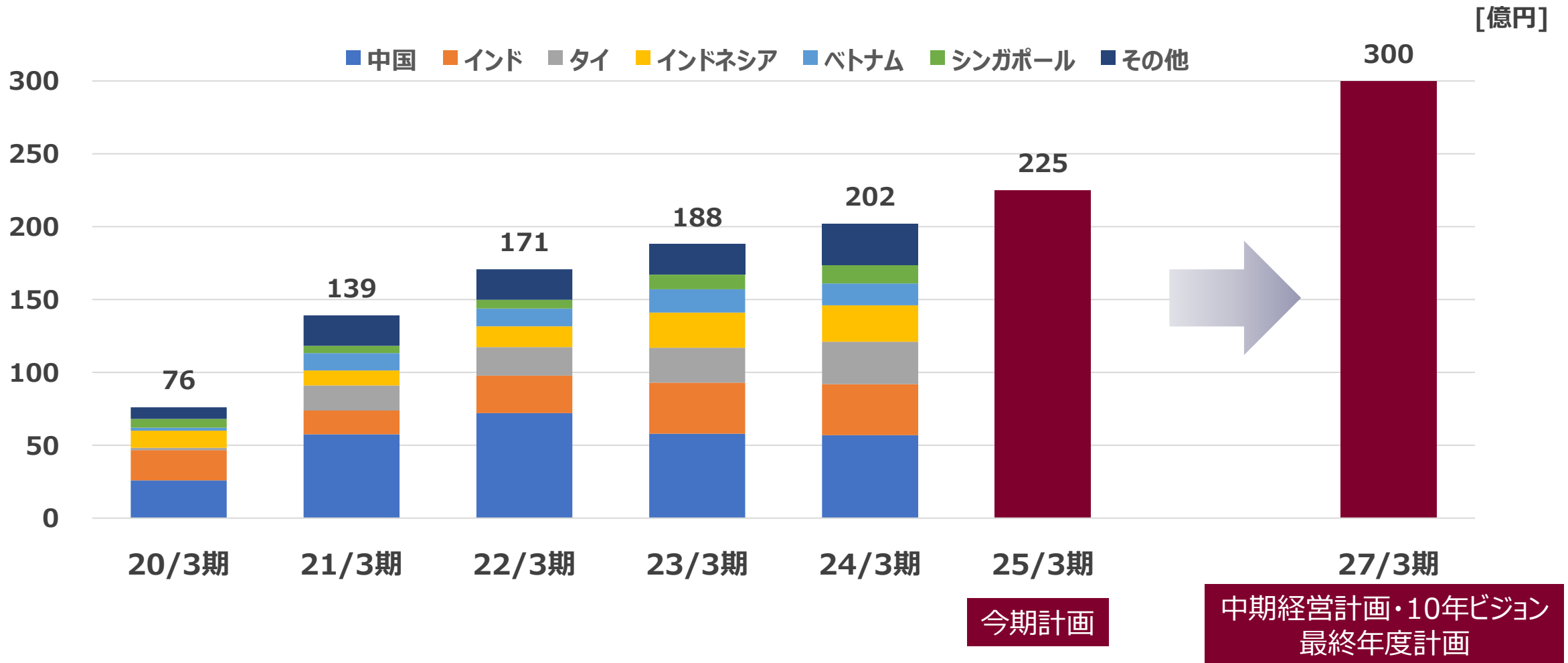
■ 中国事業の成長

- アイカチャイナにおける「AICA」ブランド浸透
- 不燃化粧板の拡販
- 生産効率化、コストダウン

Wilsonart® AICA®

爱克威盛亚·空间整体饰材 — 爱克集团 —
Wilsonart Asia-Pacific by AICA Group

4-9. 建装建材セグメント 売上計画 (海外)



今期計画は225億円、中計・10年ビジョン最終年度に300億円へ

1. 2024年3月期 実績概況
2. 2024年3月期 セグメント別実績
3. 2025年3月期 計画概況
4. 2025年3月期 セグメント別計画
- 5. 中期経営計画 Value Creation 3000&300の進捗**

5-1. 中期経営計画の進捗（財務目標）

[百万円]

	前中計	1年目		2年目	4年目
	2023/3期 (実績)	2024/3期 (修正計画※ ₃)	2024/3期 (実績)	2025/3期 (計画)	2027/3期 (計画)
売上高	2,420	2,370	2,366	2,500	3,000
経常利益	220	255	261	275	300
A S商品※ ₁ 売上高※ ₂	193	220	217	240	280
海外売上高比率	51.2%	50%以上	47.8%	50%以上	50%以上
ROE	6.9%	9.5%	9.9%	9.3%	10%を目処
ROIC	8.1%	8.9%	8.9%	9.0%	8%を目処

※₁ AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品※₂ アイカ工業単体※₃ 2024年1月発表の業績修正計画

5-2. 中期経営計画の進捗（セグメント別目標）

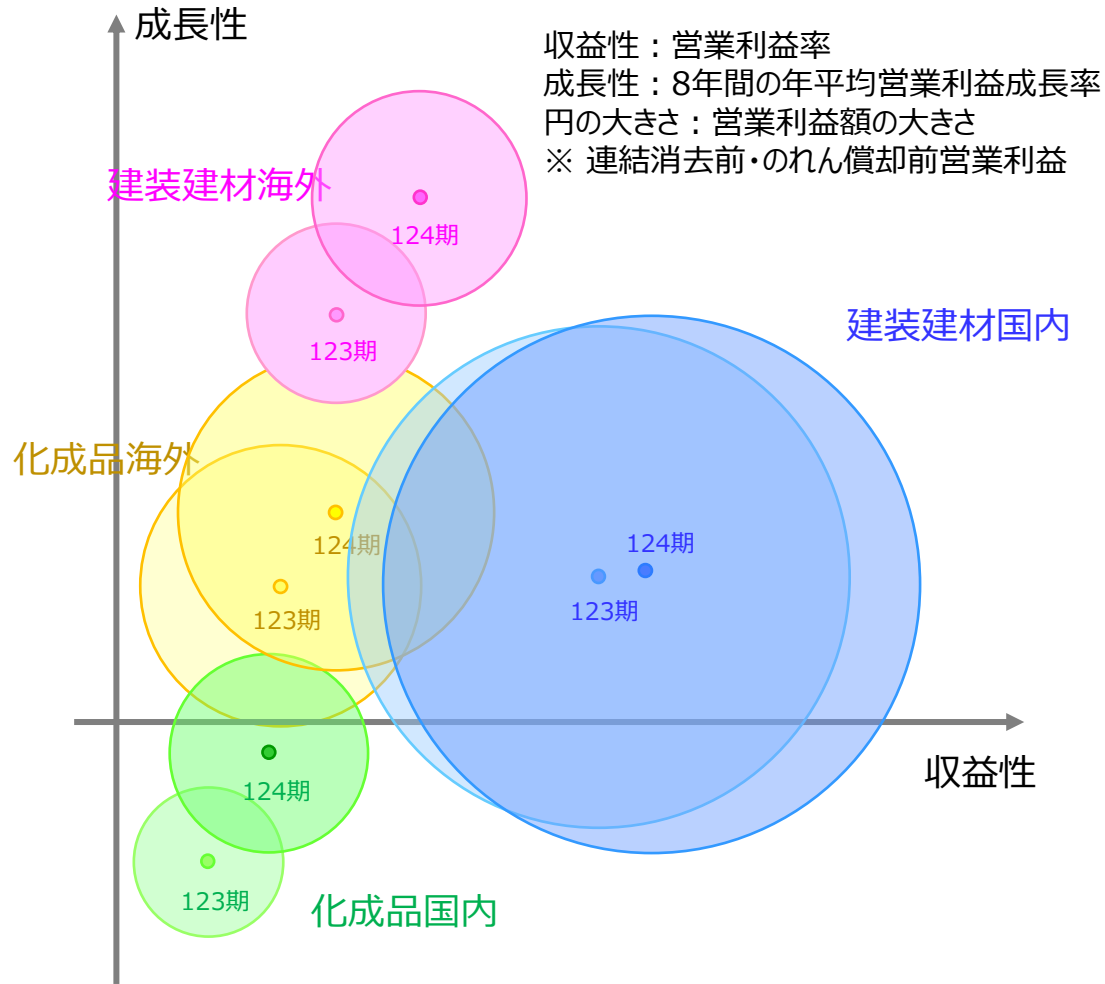
[百万円]

		前中計	1年目				2年目		4年目
		2023/3期 (実績)	2024/3期 (修正計画※)	2024/3期 (実績)	伸率	達成率	2025/3期 (計画)	伸率	2027/3期 (計画)
化成品	売上高	141,312	130,000	130,300	△7.8%	100.2%	138,200	+6.1%	175,000
	営業利益	7,494	9,000	9,280	+23.8%	103.1%	9,600	+3.4%	12,000
	営業利益率	5.3%	6.9%	7.1%	-	-	6.9%	-	6.9%
	EBITDA	11,119	13,100	13,406	+20.6%	102.3%	13,765	+2.7%	17,300
	EBITDA率	7.9%	10.1%	10.3%	-	-	10.0%	-	9.9%
建装建材	売上高	100,743	107,000	106,325	+5.5%	99.4%	111,800	+5.1%	125,000
	営業利益	16,740	19,800	20,339	+21.5%	102.7%	21,300	+4.7%	22,500
	営業利益率	16.6%	18.5%	19.1%	-	-	19.1%	-	18.0%
	EBITDA	19,910	22,400	23,254	+16.8%	103.8%	24,410	+5.0%	26,400
	EBITDA率	19.8%	20.9%	21.9%	-	-	21.8%	-	21.1%

※ 2024年1月発表の業績修正計画

5-3. 中期経営計画の進捗（収益性の改善）

■ 事業別の収益性と成長性の比較



■ 収益性改善に寄与した取り組み

セグメント	取り組み事項
化成品国内	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂別の採算管理の徹底 コストダウンの推進、商品統廃合、適正な売価設定
化成品海外	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資によるシェア拡大、生産効率向上 フェノール樹脂、ホットメルトなどの高付加価値商品の拡大
建装建材国内	<ul style="list-style-type: none"> AS商品などの高付加価値商品の拡大 メラミン化粧板、セラール等の高利益率商品のシェア拡大
建装建材海外	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資による生産効率向上、グループ全体での生産最適化 セラール等の高付加価値商品の拡販

1年目より効果発現。持続的な収益性向上に向けて、継続して注力

5-4. 中期経営計画の進捗（マテリアリティ 1/2）

項目	対象範囲	2024/3期実績	2027/3期目標
(1)経済価値の提供	アイカグループ	売上高：2,366億円 経常利益：261億円	売上高：3,000億円 経常利益：300億円
		ROE：9.9% ROIC：8.9%	ROE：10%を目途 ROIC：8%を目処
		前期比3円増配となる112円の配当を予定（15期連続増配、26期連続減配なし）	減配をしない累進配当を継続
(2)商品を通じた社会課題解決	アイカ工業	AS商品の売上高：217億円	AS商品の売上高：280億円以上
	アイカグループ	セラール廃材とメラミン化粧板廃材を粉砕し、メラミン化粧板の原料として使用する方法を確立 リサイクルメラミン化粧板として展示会に出展	主力商品の新たなリサイクル手法の開発
(3)気候変動対応	アイカグループ	温室効果ガス排出量：3%削減（2022年度比）	温室効果ガス排出量：14%削減（2022年度比）
		海外グループ会社のスコープ3に対し第三者プレ保証の受審開始 グループ間取引を考慮した算定ルールを確立する	スコープ3 排出量削減目標の設定、削減策立案
	アイカ工業	海外LCAデータベースを導入し、主力製品のCFP評価を実施	主力商品のCFP開示、CFP低減商品の開発

5-4. 中期経営計画の進捗 (マテリアリティ 2/2)

項目	対象範囲	2024/3期実績	2027/3期目標
(4) 人的資本経営の基盤構築	アイカ工業	労働生産性(付加価値÷従業員数) : 22.5百万円/人(23/3期 : 21.0百万円/人)	労働生産性 : 22.8百万円以上/人
		人的資本投資額 : 9.9億円	人的資本投資額 : 4年累計40億円以上
		海外赴任経験者数 : 累計86名	海外赴任経験者数 : 100名以上
		新卒総合職女性採用比率 : 2年累計35% (23・24年度入社)	新卒総合職女性採用比率 : 4年累計30%以上
		育休取得率 : (男性)59.1% (女性)100%	育休取得率 : (男性)70%以上 (女性)100%
	アイカグループ	単体のエンゲージメント調査を実施し、集計・分析中 グループ会社は隔年で調査を実施予定 ※23/3期 : 3.9ポイント	エンゲージメントスコア : 4.0ポイント以上
(5) DX推進	アイカ工業	自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額 2.2億円	自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額 4年累計 10億円以上
(6) ガバナンス強化	アイカグループ	「人権方針」の策定が完了し、HPにて開示 国内サプライヤーのCSR調査にも人権項目を追加して実施 人権DDの実施に向け、方策を検討中	人権尊重に向けた取り組みの推進をはじめとするグループガバナンスに係る方針・規定・制度等の拡充と監査の強化
		国内外の全拠点でBCP訓練を1回/年実施	全連結生産拠点で自然災害に対するBCP訓練を 1回/年以上実施
	アイカ工業	サプライヤーに対しサステナビリティ調査を実施、 調査結果を踏まえて必要に応じて現地監査予定	サプライヤー向けサステナビリティ調査の定期的実施、課題への対応
	アイカグループ	ファイヤーウォール・VPNソフト最新化およびEDRソフト導入が完了	情報セキュリティへの対応深化とグループ全社への拡大・強化
(7) 品質保証、労働安全	アイカグループ	国内は未達成にて改善策を検討、海外は2/3の拠点で達成	全拠点にて設定した品質不良低減目標 達成
		重大な労災発生件数 : 0件 休業災害件数 : 19件	重大な労災発生件数 : 0件 休業災害件数 : 10件以下

5-5. 中期経営計画の進捗（資本政策）

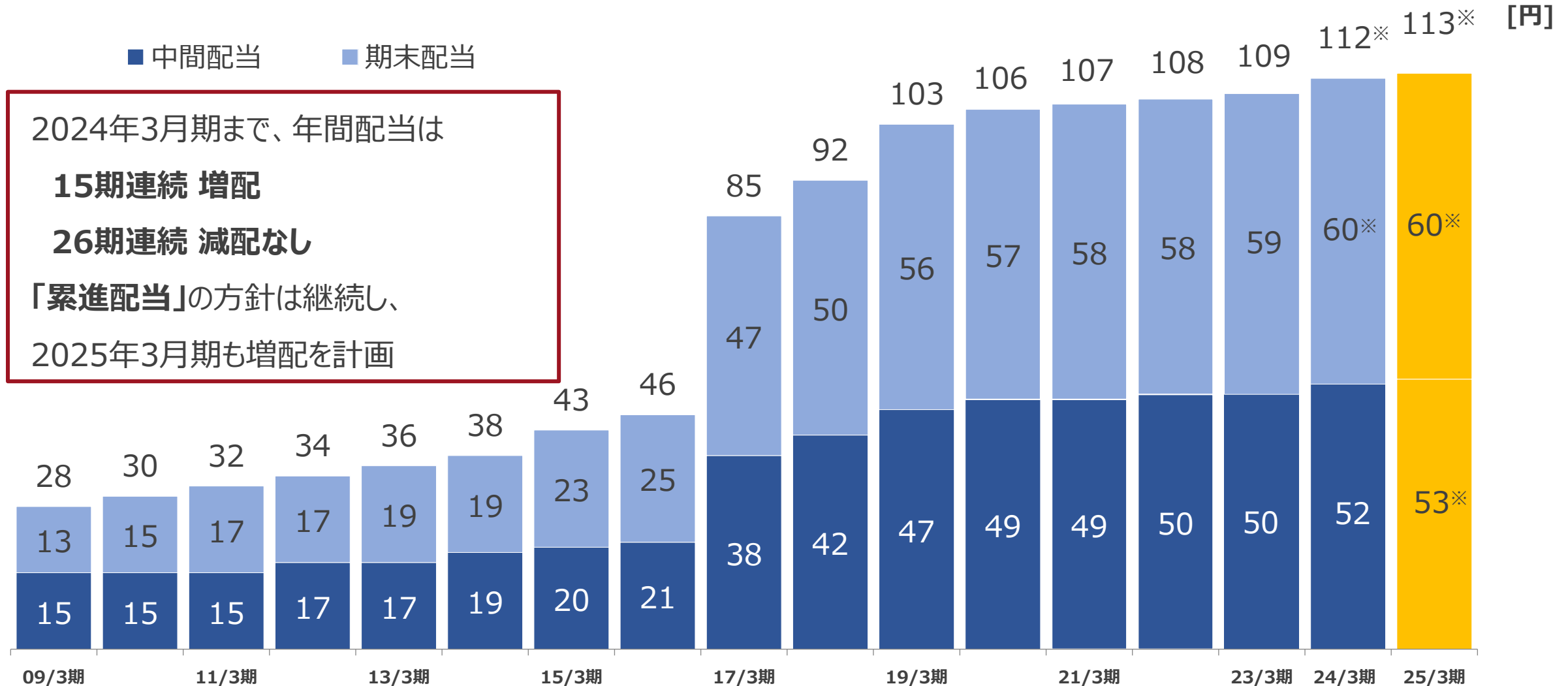
		前中計	新中期経営計画	
		2023/3期（実績）	方針	2024/3期（実績）
財務健全性の維持	現預金残高	509.9億円	手元流動性を月商の2～3ヵ月分程度確保し、リスク耐性を強化	620.2億円
	自己資本比率格付	58.1% 格付 A ※	適格な格付と50%以上の自己資本比率を維持	58.9% 格付 A+ ※
資本効率の向上	ROE ROIC	ROE 6.9% ROIC 8.1% 株主資本コスト6.3% WACC5.5%	ROE> ROIC> WACCの構造 資本コストを上回るROE・ROICの創出 ROEの設定目標10%程度、ROICの設定目標8%程度	ROE 9.9% ROIC 8.9% 株主資本コスト6.2% WACC5.6%
	FCF	70.6億円 (2年平均)	積極的な成長投資と株主還元の上を支えるFCFの確保	209.0億円

※ 株式会社日本格付研究所(JCR)

		前中計	新中期経営計画	
		2023/3期（実績）	2024/3期（実績）	2027/3期（計画・4年累計）
4年累計投資計画	設備投資	86.9億円	93.6億円	400億円
	事業投資	104.5億円	14.0億円	200億円
	研究開発投資	39.9億円	40.7億円	175億円
	環境投資	-	2.9億円	20億円
	人的資本投資	8.7億円	9.9億円	40億円

5-6. 配当について

24/3期の配当は、年間1円増配の当初計画から3円増配の112円へ



2024年3月期まで、年間配当は
15期連続 増配
26期連続 減配なし
「累進配当」の方針は継続し、
2025年3月期も増配を計画

※2024年3月期の配当は、正式には6月開催予定の株主総会で決定します。2025/3期の配当は、現時点の予想値です。



アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。